

超高齢社会

- 2025年には団塊の世代全てが75歳以上
- 2065年には、約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上
- 高齢になると罹患率、要介護率が増加
- ▼
- 個人の生活の質の低下
- 社会保障費の増大

健康寿命の延伸

- 成長戦略
成長戦略の柱の一つとして「健康寿命の延伸」を掲げ各種施策を推進
- 《KPI》
 - ・2020年までに国民の健康寿命を1歳以上延伸
 - ・2025年までに2歳以上延伸（2010年比）
 - ・平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

(参考) 平均寿命と健康寿命 (2010年)

	平均寿命	健康寿命	差
男性	79.55歳	70.42歳	9.13歳
女性	86.30歳	73.62歳	12.68歳

医療データの利活用

- ICTの技術革新
- 次世代医療基盤法 (2018年5月11日施行)
個人の権利利益の保護に配慮しつつ、匿名加工された医療データを安心して円滑に利用することが可能な仕組みを整備
- 保健医療データプラットフォームの本格稼働 (2020年度予定)
健康・医療・介護に関する既存のデータベースを連結しプラットフォーム化

医療データの利活用により医療の質を向上

課題

- 多様な医療データを大規模に収集できる環境は整備されつつある
- しかし、収集された医療データの利活用を推進する人材は不足
 - ・医療データ活用基盤を構築・運営する人材
 - ・医療データを利活用できる人材
- そのような人材を育成するには、大規模な医療データに触れることができる教育環境が必要

事業内容

- 大学病院を有する大学を中心に複数の大学が連携して医療データ人材の育成拠点を形成する取組を支援
 - 大学院修士課程レベルの教育により高度な人材を育成
- 事業期間：3年間 財政支援（2019年度～2021年度）
選定件数・単価：2件×10,000万円

成果

次世代医療の提供等 → 健康寿命の延伸 → 生涯現役社会の実現 / 医療費の削減